

# 「ホワイト物流」推進運動

## 持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
株式会社サンドラッグ	代表取締役社長 CEO	貞方 宏司	東京都	卸売業, 小売業	<a href="https://www.sundrug.co.jp">https://www.sundrug.co.jp</a>

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2022年11月10日
-------	-------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組みます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	物流事業者との定期的な会議を通じ、荷待ち時間や運転者の手作業での荷卸しの削減、附帯作業の合理化等、改善に繋がる提案と実施に向けたスケジュールを作成し、積極的に取り組んでまいります
2	A ②	予約受付システムの導入	トラックの予約受付システムを導入し、物流センターにおける待機時間、滞在時間の解消を図ってまいります。
3	A ③	パレット等の活用	物流センターでの荷役に時間を要している取引先と協力し、カゴ台車等を活用した納品へ変更を行う事で荷役時間の削減を実現してまいります。
4	A ④	発荷主からの入出荷情報等の事前提供	物流事業者が準備期間を確保出来るように入出荷情報等を早めに提供します。
5	A ⑨	荷主側の施設面の改善	納品施設(店舗倉庫)の荷卸し場所の状況について定期的な調査を行い、整理整頓、レイアウト変更等を継続的に実施することで効率的な荷卸しが出来るよう改善に取り組めます。
6	A ⑪	高速道路の利用	物流事業者と協議を行い、高速道路を利用し効率的な配送が可能となるような取り組みを推進してまいります。
7	A ⑫	混雑時を避けた配送	道路が渋滞する時間や混雑時間を避けるため、定期的に物流拠点の見直しを行い効率的な配送が出来るようにしていきます。
8	A ⑬	発注量の平準化	定期的に発注回数を見直しを実施し、曜日波動や月波動などの繁閑差を平準化してまいります。
9	A ⑮	納品日の集約	取引先から隔日配送化等の納品日の集約に関する提案があった場合は、真摯に協議に応じてまいります。
10	A ⑯	検品水準の適正化	検品レス化、サンプル検品化の実施に向けて積極的に取り組んでまいります。
11	B ①	運送契約の書面化の推進	運送契約を含む全ての契約の書面化を図ります。
12	B ③	燃料サーチャージの導入	物流事業者から燃料サーチャージの導入について相談があった場合には、真摯に協議に応じます。
13	B ④	下請取引の適正化	公正取引委員会が主催する講習会等へ積極的に参加し、公正な下請取引を厳守するように努めてまいります。
14	C ①	契約の相手方を選定する際の法令遵守状況の考慮	物流事業者を選定、又は契約更新を行う際には、関係法令の遵守状況を考慮します。
15	C ②	働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用	働き方改革や輸送の安全性の向上等に取り組む物流事業者を積極的に活用します。
16	D ②	異常気象時等の運行の中止・中断等	災害時の対策マニュアル等の整備を行い、台風、豪雨、豪雪等の異常気象が発生した際やその発生が見込まれる際には、無理な運送依頼を行わず、運転者の安全を確保するよう努めます。
PR欄			